

# 近青協だより 第1号

平成25年度近畿地区青少年教育施設協議会総会並びに所長研修会を実施しました！

日 程	
2013年5月9日（水）	
13：00～14：00	受 付
14：00～15：00	総 会
15：00～15：15	休 憩
15：15～16：15	実践発表
16：30～17：00	理事会
18：30～20：30	情報交換会
2013年5月10日（木）	
9：10～10：00	白崎万葉クルーズ
10：45～12：00	道成寺絵解き物語
13:00	解散



## 会長はこんなヒト



田中 裕幸（たなか ゆうこう）

2011年4月 民間からの公募により国立淡路青少年交流の家所長就任

大学卒業後、民間企業、コンサルタントなどを経て、人間関係トレーニング、体験学習法のファシリテーターとして活動。

その後、日本アウトワード・バウンドスクール（OBS）へ転身。OBSでは、冒険プログラムを利用した体験学習の指導法確立、指導者養成、企業・自治体・学校への冒険教育導入コンサルティング並びにOBS長野校のマネジメントにあたる。

1997年12月に有限会社アウトドア・エデュケーションセンターを設立。2011年3月退職。

## ごあいさつ

今年度より、近畿地区青少年教育施設協議会会長を務めさせていただきます国立淡路青少年交流の家所長の田中です。

今の子どもたちの置かれている状況を考えると、青少年教育施設の果たすべき役割、使命は大変重要なものであると考えます。一方、財政的な厳しさにより青少年教育施設の置かれている状況には厳しいものが在ります。

当協議会が情報共有の場、連携の場になることが益々求められてまいります。微力ではございますが精一杯努めさせていただきます。会員施設の皆様には、今後とも当協議会への積極的な参画・協働をお願いいたします。

## 総会報告

平成25年5月9日（水）～10日（木）の2日間、総会並びに所長研修会が和歌山県立白崎青少年の家で開催されました。19施設31名にご参加いただき、総会協議事項の承認、実践発表では国立淡路青少年交流の家の研修支援への取り組み、白崎万葉クルーズ、道成寺絵解き物語、2日間にわたり充実した総会並びに研修が行われました。

総会で承認された内容は以下のとおりです。

- ・平成24年度事業報告・収支決算報告・監査結果報告
- ・平成25年度役員を選出（以下のとおり）・事業計画
- ・収支予算・年度別担当の変更・申し合わせ事項

白崎青少年の家川嶋所長はじめ職員の皆様のおもてなし、準備に心より感謝申し上げます。



## 平成25年度近畿地区青少年教育施設協議会 役員

会長	(独) 国立淡路青少年交流の家	田中 裕幸
副会長	神戸市立自然の家	大山 修作
監事	大津市立葛川少年自然の家	上坂 操
理事(総会)	和歌山県立白崎青少年の家	川嶋 弘
理事(専門)	兵庫県立南但馬自然学校	山田 卓三

## 事業計画

専門委員会	兵庫県立南但馬自然学校 平成25年12月5日(木) ～12月6日(金)
研究事業 理事会	和歌山県立白崎青少年の家 必要に応じて開催

## 平成25年度全国青少年教育施設所長会議のご報告

平成25年度 近畿地区青少年教育施設協議会 会長 田中 裕幸

### 日 程

2013年5月23日(木)

12:30~13:15	受付
13:15~14:00	開会行事
14:00~15:30	特別講演 「子どもの社会力を高める体験活動～子どもの社会力が危ない」 筑波学院大学前学長 美浦村教育委員会教育長 門脇 厚司 氏
15:45~17:15	行政説明 「文部科学省の青少年教育行政施策について」 文部科学省スポーツ・青少年局青少年課 川又 竹男 氏 「子どもや若者の育成支援について」 内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付青少年企画担当調査官 小山 浩紀 氏
18:00~19:30	情報交換会
2013年5月24日(金)	
分科会	
9:15~10:45	第1分科会: 「地域連携を通じて体験活動を広げる」 事例発表: 国立夜須高原青少年自然の家所長 宮野 哲美 氏 コーディネーター 機構職員(企画課長 平田 秀一)
	第2分科会: 「施設の危機管理を考える」 事例発表: 北海道立足寄青少年自然の家所長 杉山 良雄 氏 コーディネーター 機構職員(企画課長 松村 順子)
	第3分科会: 「青少年教育施設の所長の役割は何か?」 事例発表: 国立妙高青少年自然の家所長 伊野 亘 氏 コーディネーター: 機構職員(教育事業部長 山岸 仁)
	第4分科会: 「快適な施設づくりと利用者数の獲得をめざして」 事例発表: 高尾の森わくわくビレッジ館長 諏訪 治邦 氏 コーディネーター: 機構職員(事業課長兼指導主幹 北見 靖直)
11:00~11:40	国立青少年教育振興機構の取組み ○「早寝早起き朝ごはん」国民運動について 「体験の風おこそう」運動について ○青少年の体験活動等に関する調査研究について ○子どもゆめ基金について ○研修事業の紹介
11:45~12:00	閉会行事

### 特別講演報告

特別講演「子どもの社会力を高める体験活動とは」  
茨城県美浦村教育長(筑波大学名誉教授)門脇 厚司 氏

今の家庭教育・学校教育は、社会力や意欲、公共心(道徳意識)などを衰退させる結果となっている。と警鐘を鳴らされ、今こそ社会力の育成が重要であることを訴えられた講演でした。美浦村教育長として、教育目標、「社会力」という能力、社会力豊かな人間の具体的なイメージを提示され子どもたちの育成にあたっておられるお話には、説得力が在り参考になるものでした。

一部をご紹介しますと・・・【「社会力」という能力】では

社会力とは、「人が人をつなぎ社会をつくる力」のことです。

そして、

- ① よりよい社会を創ろうとする意欲や態度と、
- ② よりよい社会を具体的に考える力(構想力)と、
- ③ 考えたよりよい社会を実現し実行する力(実行力)のこと、です。

を示され、これをまた具体的イメージとしてどんな人間像かを示されています。

明確にイメージできる「力」は、青少年教育の目的・目標の明確化にもつながるものであると感じました。多くの著書もありますので、皆さん是非一度読んでみてはいかがでしょうか。

近畿地区青少年教育施設協議会からは、8施設8名が出席されました。

大津市立葛川少年自然の家	上坂 操
京都市野外活動施設「花背山の家」	浅川 栄治郎
京都府立るり溪少年自然の家	吉田 龍一
大阪府立少年自然の家	滝口 憲治
国立淡路青少年交流の家	田中 裕幸
兵庫県立南但馬自然学校	大西 伸弘
丹波少年自然の家	細見 重彰
国立曽爾青少年自然の家	小杉 信行

の皆様が出席されました。お疲れ様でした。



# こんな事業やっています！！



体験活動指導者・指導補助員・教員向け

## AWAJI指導者養成セミナーのご案内

各地の学校で実施されている自然体験活動の内容の充実と、子どもたちへの対応力・指導力の向上を目指して、「AWAJI指導者養成セミナー」を実施します。

自然体験活動の指導補助員の方、指導補助員をはじめようかと考えている方、さらに自然体験活動の企画の充実を目指している学校の先生方のご参加をお待ちしています！

日時：STEP I 平成25年 8月10日（土）～11日（日）1泊2日  
STEP II 平成25年10月12日（土）～14日（月・祝）2泊3日  
※STEP Iのみ、STEP IIのみのご参加も可能です。三宮・徳島からの無料送迎があります。

会場：国立淡路青少年交流の家

講師：田中 裕幸（国立淡路青少年交流の家 所長）

内容：STEP I 「自然体験活動の指導法」

体験を通して学ぶとはどういうことなのか。実体験と理論レクチャーを通して学びます。

STEP II 「企画立案・プログラムデザイン」

自然体験活動の企画づくりを通して、企画づくりのプログラムデザインの方法を学びます。

費用：STEP I ・・2,570円 / STEP II ・・4,200円

お申込み：国立淡路青少年交流の家ホームページの申込フォームからお申し込みください。

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家  
〒656-0543 兵庫県南あわじ市阿万塩屋町 757-39 (担当：服部)  
電話：0799-55-2696 FAX：0799-55-0463  
ホームページ：http://awaji.niye.go.jp/hp/



## 会員間広報 を行っていきます！

今回は、淡路の事業を掲載しています。

告知希望のある施設は、随時ご連絡ください。事務局が告知をさせていただきます。

事業のチラシや要項は、下記メールにて送付ください。

今後、近青協施設間での事業視察、事業参加、事業広報ができればと考えております。

皆様のご連絡をお待ちしております！



## 事務局

国立淡路青少年交流の家

〒656-0543

兵庫県南あわじ市阿万塩屋町757-39

TEL 0799-55-2693

FAX 0799-55-0463

E-mail awaji-soumu@niye.go.jp

HP http://awaji.niye.go.jp/hp/

Facebook

http://www.facebook.com/awaji.niye

## 事業の視察に来られました！

奈良市青少年野外活動センターの末武様が、国立淡路青少年交流の家で実施された「映画を創ってみよう！！」〔6月22日（土）～23日（日）シナリオ編、7月13日（土）～15日（月）撮影編〕の視察に来所されました！！感想をいただきましたので掲載します。

私の勤務先である奈良市青少年野外活動センターでは、自然体験を中心とした主催事業を毎月1回開催しており、少しでもプログラムの内容を充実させて参加者の人数や満足度を向上させようと、職員一同で日々奮闘しております。その一方で、将来的には自然体験以外でも、たとえばアート（文化・芸術）分野などの主催事業を開催できないかと検討していたところ、国立淡路青少年交流の家で『映画を創ってみよう！！～シナリオ編・撮影編～』が開催されることを知り、私どもが今後の主催事業を考えてゆくうえで様々なヒントが得られるのではないかと考え、視察させていただきました。

前回（6/22～6/23）のシナリオ編では、講師の丁寧な指導や、スタッフの熱意あふれるサポートのもとで、子どもたちが自分の考えたアイデアやストーリーを「シナリオ（脚本）」へと昇華させてゆく過程をつぶさに見ることができました。そして今回（7/13～7/15）の撮影編では、子どもたちが自分の書いたシナリオをもとに撮影・編集して、1本の映像作品を完成させてゆく様子を3日間にわたって間近で見ることができました。

前回と今回の視察を通じて、シナリオ編の初日に真っ白な原稿用紙と向き合っていた子どもたちが、同じ班の仲間と様々な意見やアイデアをぶつけあい、互いに協力して、最終的に1本の映画を完成させてゆく過程をすべて見ることができ、視察という目的も忘れるほど、非常に充実した時間を過ごすことができました。また同時に、講師やスタッフの皆様があらゆる角度から子どもたちをサポートする姿にも感銘を受けました。子どもたち、講師やスタッフの皆様の思いがひとつとなって完成した作品は、どれも魅力的な個性あふれるものばかりで、それらの作品の数々を最終日に大きなスクリーンで鑑賞して、私自身も大きな感動を味わうことができました。

この素晴らしいプログラムを主催された「南あわじ市教育委員会」と「国立淡路青少年交流の家」の関係者の皆様から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

奈良市青少年野外活動センター マネージャー 末武和之

